

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 微量の新規マクロファージに基づく全身虚血性疾患治療の構築
2. 研究代表者： 田中 里佳（順天堂大学 大学院医学研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、研究代表者らが発見した血液中に存在する ReMa 細胞の細胞学的特性を解明し、生体内で ReMa を増やし、微小血管再生を担う「薬」の開発を行い、全身の虚血性疾患の治療を目指す。フェーズ 1 では動物実験等、確実に研究を進めており、血管再生能の高い ReMa 細胞の特性解析と培養条件の検討を進めていることが評価できる。フェーズ 2 は、未だ基礎的データが一部やや不足していると思われるが、研究計画から興味深い研究結果が得られることが想定でき、血管の再生能の評価を確実に進めること等により、破壊的イノベーションに繋がる成果が期待できる。確実に研究を推進し、画期的な成果を生み出す可能性に期待する。

以上